

霧島山（新燃岳）の 噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替え

霧島山（新燃岳）では、小規模な噴火が現在も継続しています。

気象研究所と防災科学技術研究所が行った、だいち衛星画像（JAXA提供）の解析によると、28日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数10mの溶岩ドームが、31日には直径500m程度の大きさに成長しました。今後、爆発的噴火が発生した場合、溶岩ドームが破壊され、火口から概ね3kmの範囲まで火砕流が流下する可能性があります。

このため、本日（31日）01時35分に火口周辺警報を発表（噴火警戒レベル3、入山規制、切り替え）し、火砕流に対する警戒範囲をこれまでの2kmから3kmへ拡大しました。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

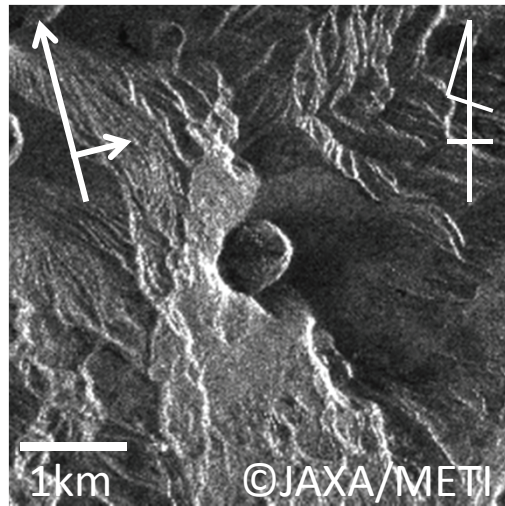
新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

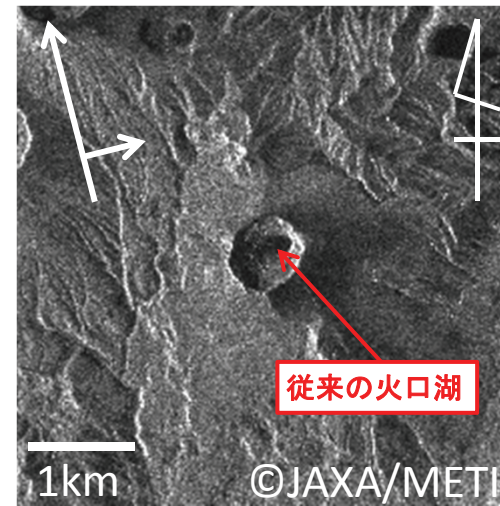
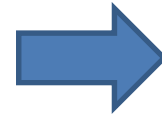
降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

新燃岳周辺拡大図

解析: 気象研究所



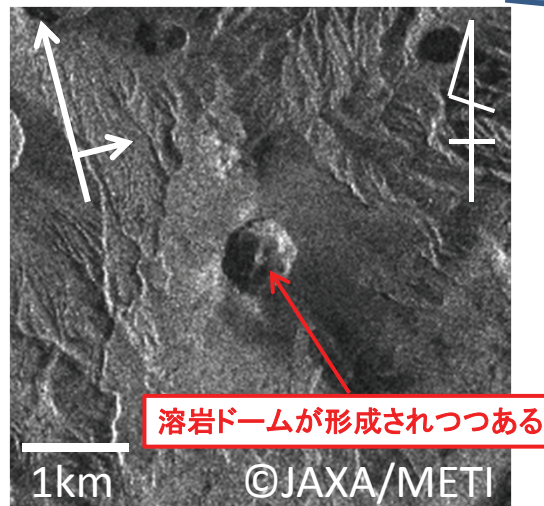
2006.12.3撮像, off-nadia: 21.5°



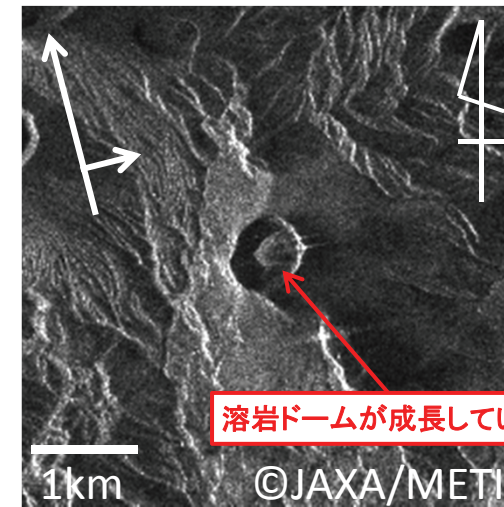
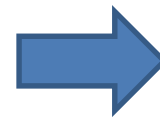
2010.1.2撮像, off-nadia: 34.3°



火口湖が消滅し、
溶岩ドーム
(100m × 100m)
が形成されている
ことが確認できる。



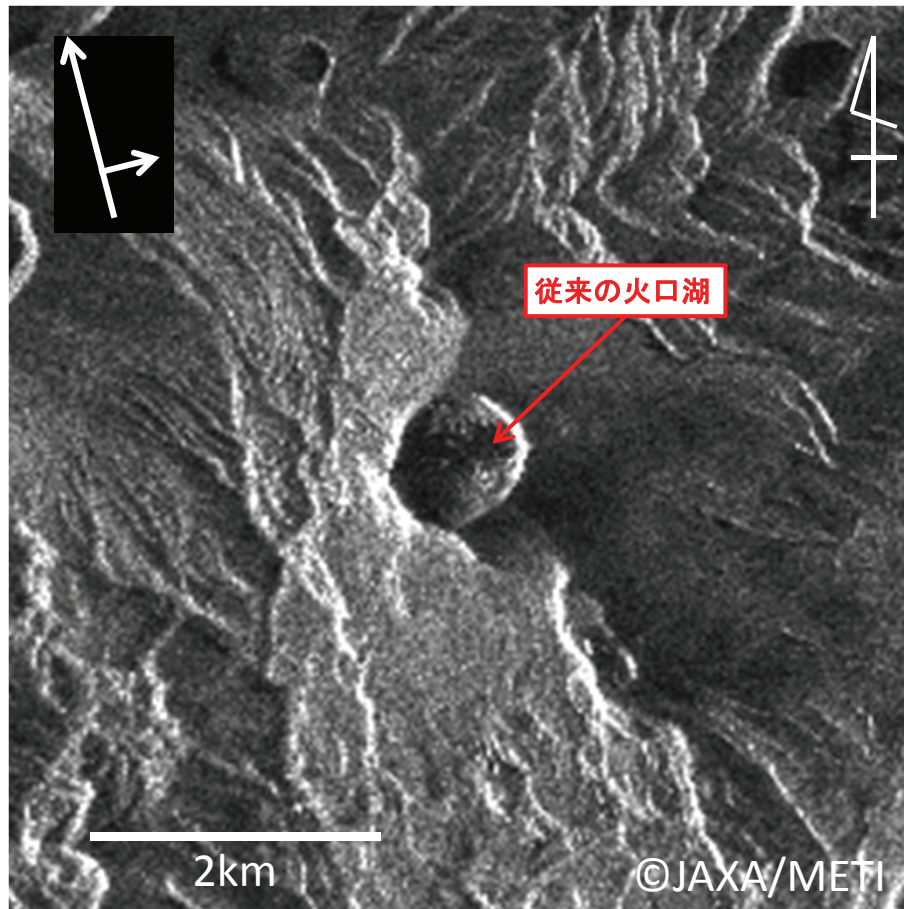
2011.1.27撮像, off-nadia: 43.4°



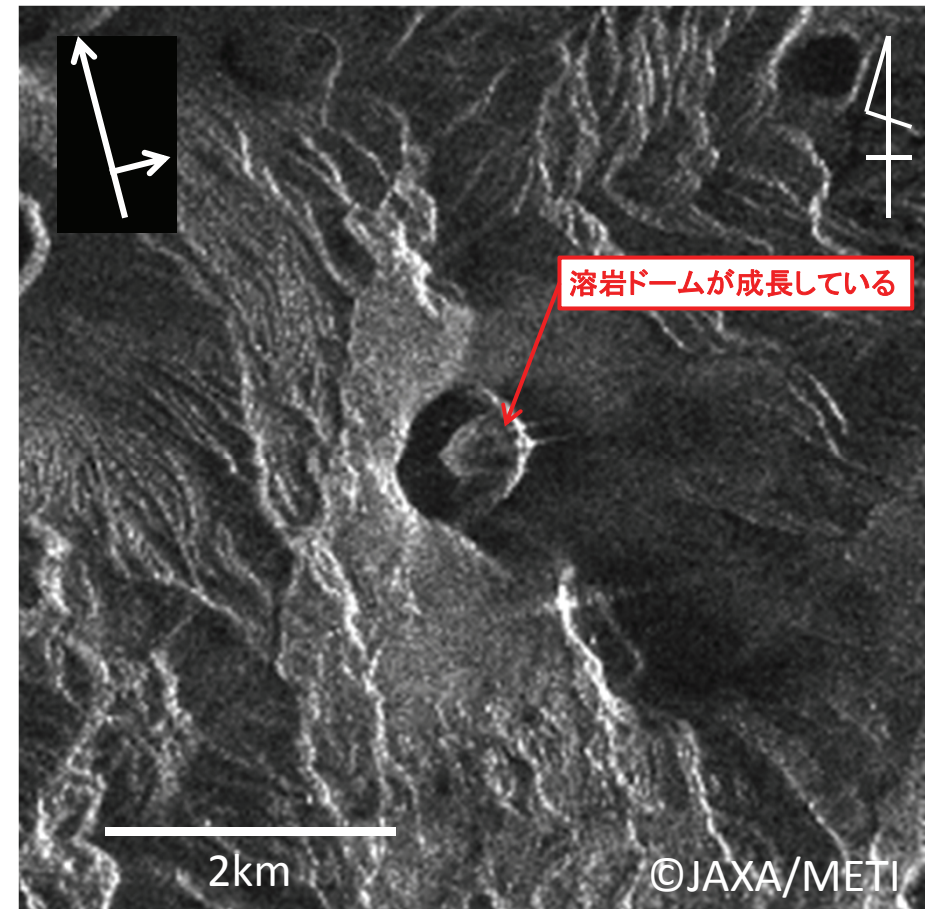
2011.1.29撮像, off-nadia: 21.5°

溶岩ドーム (500m × 400m) が成長している。

新燃岳周辺拡大図 (北行軌道)



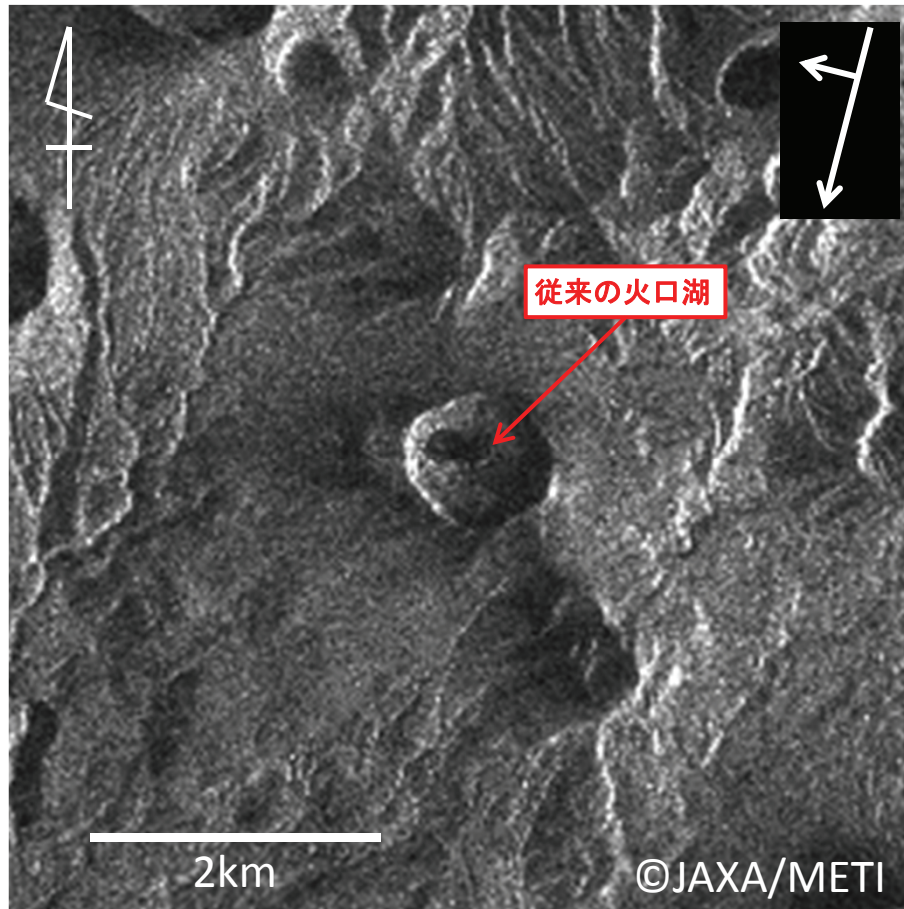
パス420, フレーム630, 2009.3.10撮像
オフナディア角: 21.5°



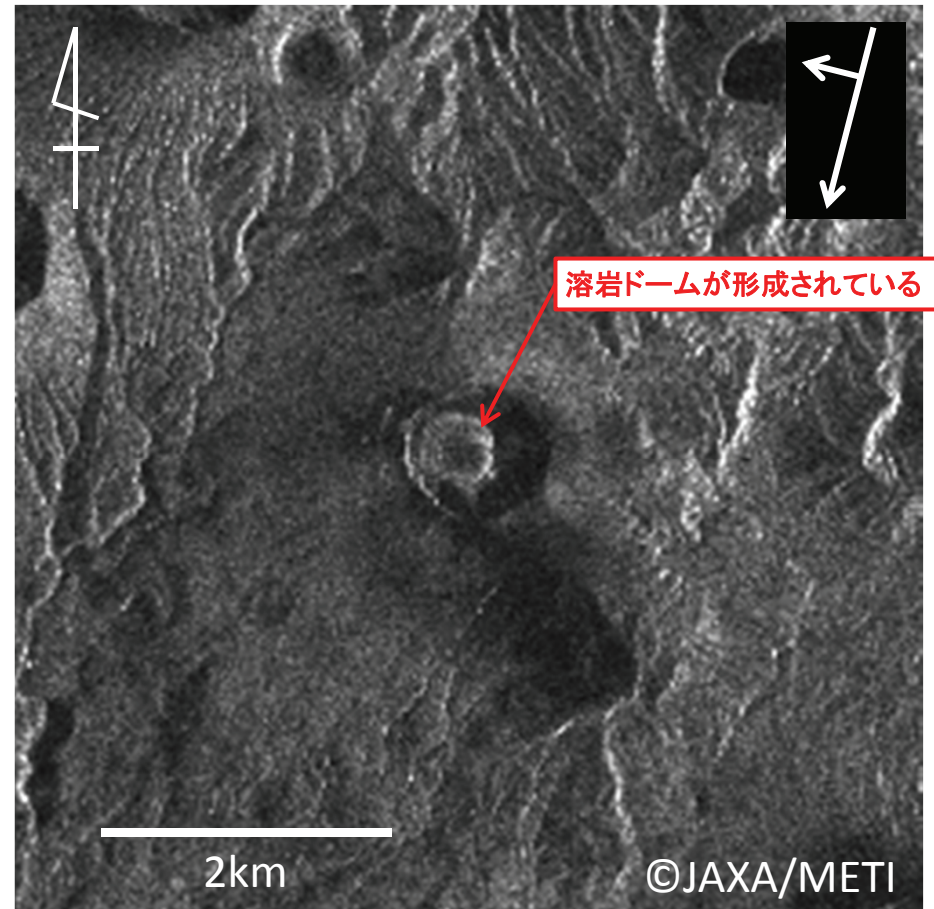
パス420, フレーム630, 2011.1.29撮像
オフナディア角: 21.5°

火口湖が消滅し, 溶岩ドーム(500m×400m)が形成されていることが確認できる.

新燃岳周辺拡大図 (南行軌道)



パス73, フレーム2980, 2011.1.18撮像
オフナディア角: 34.3°



パス71, フレーム2980, 2011.1.30撮像
オフナディア角: 38.3°

火口湖が消滅し, 溶岩ドーム(500m×550m)が形成されていることが確認できる。

※ただし, 前日とは逆方向なので, この間成長があったかどうかは要精査。

●噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

レベル5(避難) : 危険な居住地域からの避難

レベル4(避難準備) : 警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。

レベル3(入山規制) : 火口から概ね2km以内立入禁止
 ・新湯、湯之野、高千穂河原の縦走の各登山口、大幡山山頂、韓国岳山頂、中岳旧登山道入り口からの登山禁止

レベル2(火口周辺規制) : 火口から概ね1km以内の立入禁止
 ・新湯及び湯之野登山口、中岳山頂、獅子戸岳山頂、大幡山～新燃岳・獅子戸岳鞍部への登山道分岐、中岳旧及び新燃岳旧登山道入口の山頂付近立入禁止

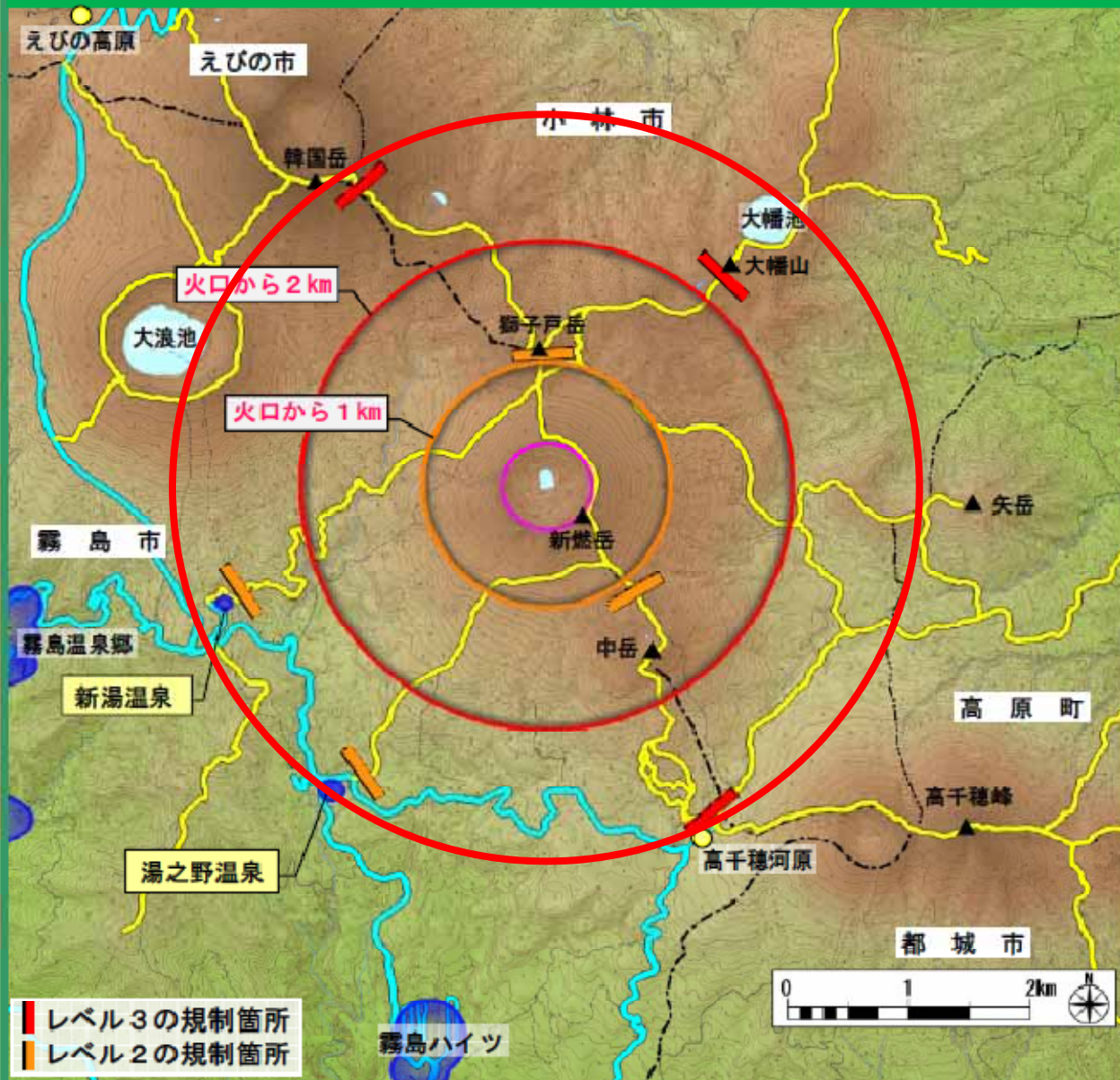
レベル1(平常) : 火口内及び火口の西側登山道の立入規制等

- : 一般道
- : 登山道
- : 新燃岳火口
- : 居住区域

■この図は、霧島火山防災検討委員会による噴火予測図をもとに、地元自治体と調整して作成しています。

■各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については宮崎県、小林市、えびの市、高原町、都城市、鹿児島県、霧島市にお問い合わせください。

霧島山(新燃岳) 噴火警戒レベルに対応した規制範囲



霧島山 (猪子石、新燃岳)

2011/01/31 01:00:15